

⑤行事-2 丹生川のくだがい神事

管粥神事(くだがいしんじ)は高山市丹生川町旗鉾にある伊太祁曾神社で 600 年前から続く伝統神事で、高山市無形文化財に指定されている。

令和 2 年 1 月 14 日午後 1 時より行われ、神事後には、参拝者にもお粥が配られ、これを食べると一年間無病息災で過ごせると言われる。

約 6cm の麻ガラ(麻の茎)に、農作物の作況・気象・社会景気・プロ野球ペナントレースなど約 140 項目の占い事を記した木札をつけ、粥の材料となる米・大豆・小豆等と一緒に大釜で煮立てる。

釜揚げし神前にお供えしたあと、麻ガラを一つずつ切り開き、粥の入り具合で一年の吉凶を占う。